

開腹腎臓摘出術を受けられる

様へ

説明医師

看護師

月日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
経過	入院日	当日（術前）	当日（術後）	術後1日目	術後2日目	術後3～6日目	術後7日目以降	退院日
目標	○心身ともに安定した状態で手術を受けることができる		○手術に伴う合併症の出現が最小限にとどめられる (出血・感染・イレウス・深部静脈血栓症など)					○退院後の療養上の注意点について理解できる
検査			術後レントゲン撮影をおこないます 	血液検査をおこないます 	採血検査をおこないます(術後2日目・4日目) その他必要な検査の予定が入りましたら随時お伝えします 			
食事	夕食後絶食 21時まで水分のみ摂取できます 経口補水液を、翌朝6時まで飲んでいただきます	絶飲食です		朝水分から摂取していただきます 吐き気などの症状がなければ 昼より食事を再開します				
	朝食は自宅  			 	  	  	  	 
処置・観察	リストバンドを装着します(退院日まで装着します) 体温・脈拍・血圧を測定します 自動血圧計で2回/日(朝・夕)測定してください お臍の処置を行います	朝浣腸をします シャワー浴後、点滴の針を留置します 入れ歯・時計・眼鏡・アクセサリは外して下さい 術後は集中治療室で全身管理をおこないます	術後6時間酸素吸入をおこないます 尿の管が入って創部に管が入っています 背中に痛み止めのチューブが入っています (使用方法の説明をします)	酸素吸入は、状態に応じて減量・中止していきます 尿の管は医師の許可があれば抜去します 術後状態が安定していれば、一般病棟へ移動します	創部の状態によっては保護材を交換します 状態によって創部に入っている管を抜きます 背中に入っている痛み止めの管を抜きます 病状が安定したら体温・脈拍・血圧の自己測定を再開してください		手術後7日目に創部の抜鉤をします	退院時にリストバンドを外します
	いつも服用している薬がある方は確認しますので看護師に渡して下さい  眠前に下剤を服用します	手術室で点滴を開始します 	持続点滴を行います  抗生剤の点滴を行います	持続点滴を行います  抗生剤の点滴を2回/日(朝・夜)におこないます 	創部に入っている管が抜けたら血栓予防のための薬を皮下注射します 	血栓予防のために皮下注射を2回/日(朝と夜)におこないます (術後7日目まで投与します) 		
制限はありません  シャワー・洗髪をしてください  	浣腸のあと、シャワー浴をしていただきます   手術着に着替え、下肢血栓予防のため弾性ストッキングを履いていただきます 手術室まで歩いていきます 看護師がご案内します 	翌朝までベッド上安静です(ベッド上で身体を動かすことはできません) 	医師の許可がありましたら部屋の中を歩きます 最初の歩行時は看護師が付き添います  看護師が体を拭きます  食事再開後は、1日1.5リットルを目安に、水分を多く取ってください 		医師の許可がでたら、創部・点滴刺入部の保護をしシャワー浴をします 			
説明 医師より説明 治療計画と手術について 看護師より説明 入院生活について ・手術室の看護師より説明 手術について ・集中治療室の看護師より説明 術後の管理について 薬剤師より説明 薬について 			医師より説明 手術の結果について  看護師より説明 手術後の療養上の注意点について 	尿管を抜いた後、最初の尿を看護師が確認するので、破棄せず知らせてください 以降も量を計り、シートに記載してください			医師・看護師より説明 退院後の療養生活について  	

- *入院に関して心配事がありましたらお申し出ください。
- *入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。また、定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。
- *この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともありますので、予めご承知ください。
- *入院に際してこの用紙を必ずお持ちください。

17-C64-3

2019.10.3版
京都第一赤十字病院